





令和 4 年度 施策評価表

施策	0502	スポーツの振興	施策担当部	市民環境部	部長	杉野 幸夫
			施策担当課	スポーツ振興課	課長	橋本 学
施策の方針	スポーツへの参加促進や指導者の育成を図り、生涯スポーツ及び競技スポーツを推進する。また、スポーツ施設を充実するなど、誰もが気軽にスポーツに親しめる環境を整える。					
関連するSDGsのゴール	   					

【DO（実施）】

後期基本計画（令和3年度～令和7年度）における数値目標

指標名	単位	基準値 (R1)	R3目標値	R4目標値	R5目標値	R6目標値	R7目標値	R3年度	
			R3実績値	R4実績値	R5実績値	R6実績値	R7実績値	達成率	進捗率
① スポーツイベントの参加者数	人/年	5,543	6,200 181	6,250	6,300	6,350	6,400	2.9%	2.8%
② 公認のスポーツ指導者登録数	人	174	182 194	186	190	194	198	106.6%	98.0%
③ スポーツ競技団体の加入者数	人	8,562	8,740 7,904	8,830	8,920	9,010	9,100	90.4%	86.9%
④ 成人の週1回スポーツ実施率	%	51.4	54.4 52.8	55.8	57.2	58.6	60.0	97.1%	88.0%
⑤ 体育施設の利用者数	人/年	646,287	648,700 453,246	649,850	651,000	652,150	653,300	69.9%	69.4%

施策達成状況の説明

①新型コロナウイルス感染症の影響で各種スポーツイベントが中止になったため、目標値を大幅に下回った。
 ②県スポーツ協会と連携して公認指導者の登録を呼びかけた結果、目標値を上回った。
 ③新型コロナウイルス感染症の影響で市スポーツ協会が実施しているスポーツ医科学講習会や初心者教室の開催が一部中止となり、募集活動が満足にできなかったことなどから、加入者数が減少し、目標値を下回った。
 ④基準値よりも週1回以上のスポーツ実施率は増えたが、目標値を下回った。
 ⑤新型コロナウイルス感染症の影響で体育施設の利用制限などを行ったため、利用者が減少し、目標値を下回った。

施策経費

(単位:千円)		R3年度 決算	R4年度 予算	R5年度 見込	特記事項
内訳	事業費	383,320	316,130	361,359	
	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	1,900	
	その他	104,192	77,387	77,451	
	一般財源	279,128	238,743	282,008	
	人件費	39,552	35,835	—	
フルコスト	422,872	351,965	—		

施策の概要（細施策）

050201	スポーツへの参加促進	生涯を通して気軽にスポーツを楽しむことができるよう、市民スポーツ大会、ロードレース大会など、子どもから高齢者まで誰もが気軽に参加できる市民参加型のスポーツイベントの開催や、地域のスポーツ大会などの支援を行います。
050202	指導者の育成	スポーツの指導者の育成を図るため、日本スポーツ協会が公認するスポーツ指導者資格などの取得支援や、県と連携した研修の充実による指導者の育成・確保に努めます。
050203	競技スポーツの推進	競技力の向上を目指し、市スポーツ協会と連携し競技スポーツ団体の育成を図り、優れた指導者や競技者の養成に努めます。 また、全国レベルの大会やスポーツ合宿を誘致するなど、多様な交流を通じた競技力の向上を図ります。
050204	スポーツ施設の充実と利用促進	市民のスポーツ活動の場となるスポーツ施設の充実を図るため、総合運動公園の早期整備や老朽化した施設・設備の計画的な改修と適正な維持管理に努めます。 また、スポーツ施設の利用促進を図るため、適切な運営管理を行うとともに、予約システム等の充実を図ります。

【CHECK（評価）施策担当部長】

施策を達成する上での問題点・課題

- ・老朽化しているスポーツ施設が多く、随時必要な改修工事を進めているが、突発的な大きな故障や不具合等が発生した場合の対応が課題である。
- ・少子高齢化が進む中、高齢者がスポーツに親しむ機会は増えてきているが、若年層から働き盛り世代のスポーツへの参加促進が課題となっており、身近にスポーツに親しむ環境を整える必要がある。
- ・スポーツイベントの年間参加者数の目標値達成に向け、毎年開催している市民スポーツ大会等のスポーツイベントにおける競技種目について再検討する必要がある。
- ・競技団体やスポーツ推進委員などの協力により、スポーツイベントの開催などスポーツ振興を図っているが、活動の中心となる方々の高齢化が進んでおり、後継者育成が課題となっている。
- ・令和3年に開催された東京オリンピックで、スポーツに対する関心が高まっている中、スポーツを通じた地域の活性化、国際交流などを図るため、県や県スポーツコミッションとともに、スポーツ合宿の誘致に努める必要がある。

【ACTION（改善・改革）】

上記の問題点・課題を踏まえた事務事業の改善・改革や新規事業についての考え方

- ・スポーツ施設利用者に対して、快適で利便性が高い施設を提供できるよう、必要な改修等を行い、整備を進めていく。また、市のスポーツ施設の中長期的な整備改修計画を策定する必要があるため、スポーツ施設改修等検討委員会を設置し、アセットマネジメントによる計画と整合性を取りながら、整備改修計画を進めていく。特に、新庁舎建設地が市民プールに決定したことに伴うプールの代替施設について、建替時期を迎える屋内プールとの集約化も含め、早急に在り方をまとめ整備を図る。また、トラックがクレー（土）である陸上競技場についても、全天候型競技場への大規模改修に向けての具体的検討を進めていく。
- ・スポーツイベント開催事業について、スポーツ人口の拡大のため実施している市民スポーツ大会の種目等が市民のニーズにあっているか精査し、内容を検討しながら、スポーツに親しむ環境を広げていく。
- ・スポーツ振興事業について、日本スポーツ協会公認資格などの取得支援や、県と連携した研修の充実による指導者の育成、確保に努め、生涯スポーツの普及推進を支える指導者の育成を図る。
- ・地元出身選手の世界大会やプロスポーツ界での活躍もあり、スポーツに対する関心が高まっている中、市民、特に小中学生がトップアスリートの生のプレーに接する機会を作ることは、競技力の向上やスポーツへの関心を高めることに繋がる。このため、県や県スポーツコミッションと連携してスポーツ合宿の誘致に努める。また、県内にあるプロスポーツチーム（V・ファーレン長崎、長崎ヴェルカ）の試合を観戦することは同様の効果をもたらすことが期待できることから、市民が試合観戦する機会を増やすなど、これらを活用したスポーツの振興について検討を行う。

令和5年度新規事業

	事業名	担当課	令和5年度見込	対象・事業概要など
			事業費（千円）	
1				
2				
3				
4				
5				
			0	